

# LFSID Dシリーズ ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFSID-32・LFSID-60・LFSID-100

## お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email [sales@baxida-tech.com](mailto:sales@baxida-tech.com)

ラベルフィーダー—Siemens Dシリーズ 取扱説明書 USER INSTRUCTIONS ★ ラベルフィーダーの基本  
概念 ★ ラベルフィーダーの外観構造 ★ ラベルフィーダーの通紙方法 ★ ラベルフィーダーの操作説明 ★  
ラベルフィーダーのアフターサービス保証

お客様各位：当社が開発・製造したラベルフィーダーをご購入いただき、ありがとうございます。お客様が本製品の使用方法を速やかに習得できるよう、この取扱説明書を特別に作成いたしました。本書からは、当社ラベルフィーダー製品に関する重要な注意事項、外観の詳細、操作説明、保守・メンテナンス方法などをご確認いただけます。本製品をご使用になる前に、ぜひ本書をよくお読みいただくことをお勧めします。それが本製品をより良くご使用いただく助けとなります。当社は本書に記載された情報が正確かつ信頼できるものであるよう最大限の努力をいたしますが、万一漏れがございましたら、ご指摘いただけますと幸いです。感謝申し上げます。本製品は非標準のカスタム品でもあるため、お客様のご要望に応じて製品のハードウェアに改良やアップグレードを加えることがあり、その結果、本書の内容と実物に差異が生じる場合があります。その際は実物を基準とさせていただきますが、本製品のご使用に実質的な影響はございません。ご了承くださいますようお願いいたします。ご協力に感謝いたします。本製品を正しくご使用いただくため、本書を大切に保管し、いつでもご確認いただけるようにしてください。本製品の修理は専門の技術者が必要です。問題がございましたら、速やかに当社までご連絡ください。

## 重要注意事項

1、フィーダーを直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください； 2、本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があり、大電力の電気設備と同じ電源プラグに接続しないでください。 3、乾燥した柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）でフィーダーを拭いてください； 4、剥離刃と受料プラットフォームに衝撃や汚れを与えないでください； ； 5、虫食いやネズミ噛み、異物侵入などによる製品または部品（外殻、LEDスクリーン、インターフェース、電子部品回路など）の破損、錆び、損傷などを避けてください。 6、当社が認可した機関または人員以外による取り付け、修理、追加、または分解を行わないでください； 7、衝突禁止。フィーダー同士の衝突や他の物体との衝突にご注意ください。微細な損傷が発生し、機能および性能の低下を引き起こす可能性があります；



## 輸送および受領確認

---

お客様が受け取る商品が完全であることを確保するため、商品受領時に運送業者と対面で開梱検収を行い、輸送による損傷や欠品がないことを確認した上で署名してください。輸送による損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。商品、商品梱包材および付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社までご連絡ください。受領当日に需要者が受領製品に対して異議を唱えない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷の責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

## フィーダー概要

---

### 3.1 フィーダーの適用範囲

3.1.1 紙製ラベルでもFPC補強鋼板、各種マイラー粘着テープ、発泡材、防塵メッシュ、高温粘着テープなど、各種巻式材料にラベルフィーダーを使用できます。3.1.2 材料サイズの互換性が高く、1台のラベルフィーダーで最大サイズ以内のすべてのサイズの材料に対応でき、同時に単列または多列をサポートし、機械の使用効率を最大限に実現します。3.1.3 巻式フィーダーは主に包装、3C、FPC、電子業界に適用されます；3.1.4 別途ラベリングマシンを購入する必要はなく、ラベルフィーダーとチップマウンターを組み合わせることで貼付作業を実現できます。

上料軸 巻取り軸 タッチスクリーン 粘着防止台 ガイドブロック 剥離ブレード 廃料回収ロール カバー引き棒 押え片 (そのうちの1モデルを例として紹介します。モデルによって一部構造が異なります。具体的には実物を基準としてください)

### 3.2 フィーダーの外観構造

廃料回収ロール

## フィーダーのテープ通し方法

---

### 4.1 フィーダーの通紙説明

4.1.1 材料ロールはラベル取り付け軸スリーブから始まり、巻取り軸を経由します。ストッパリングで材料ロールを位置決めし、左右の振れを防止してください；4.1.2 ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部のイモネジを緩め、材料ロールの幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動できます）を通し、押え片を通します（押え片の4本のイモネジを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調整できます）；4.1.3 押えカバー撥杆を下に押し、押えカバーを開け、材料ロールを押えカバーと駆動軸の間に挟み、押えカバーを押してラベルを締め付けます；4.1.4 最後に、空の材料ロールは廃料テープ回収軸スリーブを通して回収されます。

### 4.2 フィーダーの通紙示意图

以下の示意图には上収膜が含まれています。上収料がない場合は無視してください。実物サンプルを基準としてください。

色标识 白色上膜巻き経路 緑色底膜巻き経路

### 4.3 通紙注意事項:

4.3.1 テープの角度方向は真っ直ぐに保つ必要があります; 4.3.2 大きなラベルや剥離しやすいラベルは、スプリング巻取り軸を経由しなくても構いません。角度が大きいことでラベルが早期に剥離するのを防ぎます; 4.3.3 剥離しにくい小さなラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度がより小さい面に換えて使用できます。

## フィーダー光ファイバーセンサー操作説明

---

### 5.1 光ファイバーセンサーの外観

- ①ラベルが光ファイバーポイント上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する検出値を生成します。
- ②光ファイバー動作設定値>光ファイバー検出値かつランプ点灯時、材料ありを検出; 光ファイバー動作設定値<光ファイバー検出値、材料なし状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は材料なし状態より200大きくすればよいです。

光ファイバーセンサー 動作設定値 光ファイバー検出値

### 5.2 ボタン説明

光ファイバー動作設定値を大きくします。 光ファイバー動作設定値を小さくします。

### 5.3 使用説明

## フィーダーディスプレイ操作説明

---

### 6.1 ディスプレイ使用説明

6.1.1 動作モード 自動: 生産モード; 手動: 生産停止、材料投入・交換に使用; 6.1.2 供給位置: 供給距離を調整し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調整します。(ラベルが上に反るか送りすぎの場合、供給位置が大きすぎます。ラベルが所定位置まで送られない場合、供給位置を増やせます); 6.1.3 供給速度: ラベル剥離が完了している状態で、速度を上げるか下げるかに応じて、供給位置を相応に微調整する必要があります。貼付速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供給の安定性を保ちます; 6.1.4 供給遅延: 1つの材料を送り終えてからしばらくして次の材料を送るまでの時間。単位は0.1s (ロボットアームの取り出しが遅く、ラベル送り速度が速い場合、遅延を設定できます); 6.1.5 生産数量: ラベルが1列送り出されるごとのカウント。長押しでゼロにリセットして再カウントできます。

：手動モードで、ラベルを1回送ります：手動モードで、材料ロールが少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に減少します。：手動モードで、材料ロールが少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に増加します。：パラメータ設定、中国語・英語形式の設定が可能、チップマウンターとの通信信号を設定できます（信号線の接続が必要）。

## ラベルフィーダー配線説明

---

7.1 チップマウンターがフィーダーにラベルあり信号を要求する場合、黄色い線を接続する必要があります。画面設定：有料信号選択→使用；フィーダー上にラベルがある場合、チップマウンターにOV信号を送ります。7.2 チップマウンターがフィーダーの出標状態を制御したい場合、画面設定：送料信号選択→使用；チップマウンターがフィーダーに緑色の線を介してOV信号を提供することで、フィーダーが送標操作を実行します。7.3 画面設定：送料信号選択→不使用、フィーダーはデフォルトで料台にラベルがない場合に自動的に送標操作を実行します。

## アフターサービス保証条例

---

製品の保証期間はご購入日から起算し、保証期間は1年間です。保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供いたします。以下の場合、無償修理を提供いたしません：一、製品または部品が相当する保証期間を超えている場合；二、誤ったまたは不適切な使用、保守、保管による故障または損傷。例：不適切な運搬；製品の合理的な予期される用途に従わない使用；外部機器の不適切な抜き差し；落下または不適切な外力による衝撃・圧迫；三、不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ、水浸または湿気環境への接触もしくは暴露；または異物侵入による製品または部品の破損、錆び、損傷など四、当社が認可した機関または人員以外による取り付け、修理、変更、追加または分解に起因する故障または損傷；五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。保証期間満了後および無償保証条例に該当しない設備についても、お客様は当社の修理サービスを受けることができますが、状況に応じて部品代および修理費用を申し受けます。製品出荷前に、弊社は貴社から提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整済みです。通常、製品受領後は電源に接続すれば使用できます。操作方法が不明な場合は、当社技術者によるオンラインリモート操作指導を行います。部品交換が必要な場合は、製品を物流で返送していただく必要があります。

私たちの使命 電子業界の自動化分野において以下を解決することに取り組みます：製品の研究開発過程における「革新追求」の技術課題；製品の工業生産における「安定動作」の技術課題；製品の製造過程における「持続的品質」の管理課題；製品の使用過程における「効率的で責任ある」サービス課題；お客様製品の「総合コスト」を継続的に低減する市場課題。